

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価の調査項目です)

取り組んでいきたい項目

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
1. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの壁に誰でも見える位置に理念を掲示している		
2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念を共有し入居者様に愛情を持って接しケアに取り組んでいる		毎朝の申し送り時に理念を唱和し、継続することで理念を浸透させ、スタッフの意識づけを図る。
3	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議や家族会を通じて理解していただけるよう努める		
2. 地域との支えあい				
4	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	隣組の方や隣接しているアパートの方など挨拶や声掛けを行っている。また、自治会の回覧板や町内会長等の連絡のやり取りを行っている		
5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	事業所は、運営推進会議や自治会を通じて健康相談会や包括支援センターへの介護相談をチラシを作成し回覧してもらっている。又、町内会と共同で認知症の勉強会を開催した。		地域で行われる講演会や地域の防災訓練や地域清掃活動に参加している。年度末にも公民館等で認知症の勉強会を予定している。本年度中学生等のボランティア導入はインフルエンザ予防のため実施していない

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	町内会と協力して公民館で「認知症の方と共に生きる」ビデオ学習会を行った。		
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	月一回のミーティングにて評価を行う意義等について職員同士理解を深め、前回の評価についての改善策についても話し合い改善に向けて取り組んでいる		
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議では、町内の役員の方、家族代表等に向けて現在の施設の状況や行事報告、評価への取り組みを報告し意見交換によりサービスの更なる向上に向けて活用している。		
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	困難な事例等がある時は、包括支援センターが近くにあり相談を行うことが出来る		
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	管理者、スタッフは、権利擁護、成年後見制度について研修に参加している。同施設では今のところ該当者なし		
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	外部での勉強会に参加し職員同士意思を統一し虐待の防止に取り組んでいる。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約や解除時は、家族の不安も大きい為、入居時は面会の頻度を多くして頂き、状態報告、生活状況等説明を行い御理解や納得して頂ける様図っている。疑問等があれば、いつでも気軽に言える雰囲気作りをしている。		
13	運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	ホーム入り口に苦情箱を設置し家族会でも意見を言えるようにしている。		
14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の面会時やお電話等で、暮らしぶりや身体状況をお伝えしている。又、行事等の報告などミルテ便りでお知らせしている。居室にも連絡ノートを設置している。		
15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	施設ミーティングを週1回行い運営に反映させている。		
16	運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎週火曜日14時から運営者、管理者によるミーティングを行い入居者様の状況やスタッフ業務の改善や意見を反映するようにしている。		
17	柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	行事やその他スタッフの都合による勤務の変更やミーティングにおいて管理者、運営者そろって話し合い、施設内でも職員同士話し合い、出来るだけダメージを軽減できる様に配慮している。		
18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	火曜日のミーティングにおいて管理者運営者そろって話し合い、施設内でもスタッフ間でも話し合い、出来るだけダメージを軽減出来る様に配慮している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	人権の尊重 法人代表者及び管理者は、職員の募集・採用にあたっては性別や年齢等を理由に採用対象から排除しないようにしている。 また、事業所で働く職員についても、その能力を発揮して生き生きとして勤務し、社会参加や自己実現の権利が十分に保証されるよう配慮している	職員の募集採用にあたっては、人権は尊重されている。自己実現のために研修や資格取得の為に受験など受けられるよう配慮している。		
20	人権教育・啓発活動 法人代表者及び管理者は、入居者に対する人権を尊重するために、職員等に対する人権教育、啓発活動に取り組んでいる	本年度人権学習等には参加していないが、ホームの理念に沿って職員は業務にあっている。		
21	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	開設して三年、スタッフの退職や移動がありグループホーム経験者が少ない中、ホームの特性などを学び認知症介護実践者研修や、その他の介護研修に参加しスキルアップにつとめている。		
22	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	地域にあるネットワークを通じて交流を図りたいと思っているが実際には、同グループ内に留まっている。		スタッフのストレスや知識の向上を図るため機会があれば参加したい
23	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	運営者は、来所時にスタッフ等に声掛けされている。管理者は、ストレスの軽減を図るため何でも言いやすい雰囲気作りに配慮している。		
24	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	外部評価や講習に積極的に参加する様に働きかけている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
25	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	初めは、ホームでの生活や他入居者との人間関係などになじめていない方も色々な話を聞き対応していく事でホームでの生活に溶け込んでいけている		
26	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	他家族の面会等は、積極的に話しかけ相談しやすい人間関係を作るように心がけている。又、定期的に家族会を実施し家族同士の触れ合う場を提供している。		
27	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居者様、ご家族の意向を確認しフォーマル、インフォーマル、社会資源を活用している。		
28	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居前に、見学、体験入所を行いホームの雰囲気を肌で感じてもらい納得していただき入居にいたっている。又、入居に際し馴染みのもの等を持参していただいている。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
29	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	職員一同、入居者様に、家族の一員と思っていただける様に接し介護を行っている。		
30	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	入居者様がお困りの時は、ご家族にも相談し、なるべく御家族に多く関わっていただける様に心がけている。又入居者様御家族どちらにも、お互いに良い関係が保たれるように働きかけている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
31	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	本人、御家族双方に話を聞き、御家族と入居者の接点を増やしたり中立の立場に立ち支援できるよう心がける。		
32	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	自立度の高い方は、外出や外泊をされて故郷へ帰り馴染みの人に会っておられる。又、それ以外の方も遠方よりお客さまが定期的来られている。		
33	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様同士の日々の生活に気を配り、職員が間に入りながらより良い関係を作れる様に努めている。		
34	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	なるべく、サービス利用が終了した方についても、訪問等を行い関係を継続していけるようにしている。退去後も御家族の来訪あり。		
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1.一人ひとりの把握				
35	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	職員一同常に入居者の意思を第一に業務に取り組んでいる		
36	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時のアセスメントを正確に聞き取り、業務に反映させている。また、生活していく中で解かったことも追記している。		
37	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	スタッフは、一日の過ごし方を把握しその方に合った生活が出来るよう支援している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
38	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	日々ケアを通して、新たに発見することもあり御家族と相談を実施しているが、上手くプランに落とし込めていない。		
39	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	スタッフのみで対応が出来ない時、御家族にも協力して頂き尚且つ対応が困難時には、主治医にも相談し受診している。		
40	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	日々のケア実践、気づきを個々の記録に記載している。施設介護経験者が少ない事もあり、充分ではない		スタッフに介護記録を活かせるように記録の勉強会等に参加して行く
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
41	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	入居者様は、重度の方が多くその中でもADL、意思疎通可能な方の要望で少しの外出や出来る方だけで野菜の皮むき、おやつ作り漬物を漬けたり出来る限りの支援をおこなっている。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
42	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	重度の方が多くご本人の意思の把握が困難。今年度はインフルエンザの流行があり、予防のためボランティアの導入などできなかった。		
43	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	福祉道具の導入や医療の連携を図りその方に必要なサービスが受けられるよう支援している		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	一応出来ているが、長期的なマネジメント等については受けていないので、今後はアドバイスを受けながら支援していきたい		
45	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	母体が病院であり主治医と連携を図りながら、御家族の希望も聞き取り、安心して頂ける様支援している		
46	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	担当のDrに相談や受診を行っている。症状等が悪化されたときには、心療内科医を受診し専門医を紹介して頂いたり又入院治療が受けられる様支援している		
47	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併施設に看護職員が配置されているので、非常時は指示を仰ぎ支援している		
48	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院中の情報交換や退院に向けて状態の把握や安心されるよう面会を行い連携を行っている。退院に向けて施設へ外泊等を試み早期に退院できるように外泊時の状況や体調等も病院へ報告している。		
49	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	重度化や、終末期のあり方について 御家族、主治医、スタッフ全員が確認を取りながら方針を共有している		看取りの経験者が少ないので、それまでの経過や、御家族の関わり、家族のケアについて勉強会を行って行く
50	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	どう変化するかわからないが、入居様様が安楽に過せるよう準備を整えている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
51	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	ダメージを軽減する為に施設見学、体験入所などを心がけている。また、淋しい思いをされない為に家族に面会の回数を増やしていただいている。		
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1) 一人ひとりの尊重				
52	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人情報の取り扱いについて同意書を頂いている。入居者様のプライバシーが守られるよう配慮		
53	利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	本人の意思を尊重し出来るだけ希望に答えられる様に行っている。また、本人の意思で選択できる機会を多く作る様にしている。		自己表出が出来ない方にも出来るだけ多く答えられるように支援していきたい
54	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	リハビリの通院や訪問リハビリ鍼灸など本人の行いたい事項を実現できるよう支援を行っている。日中傾眠がちの方夜型の方などなるべくその方のリズムに合わせている		なるべくその方が望まれる様支援していきたい
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
55	身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	意思を伝える事が出来る方は、本人が洋服を選んでいる。また、理美容はなるべく御家族に連れて行ってもらう様にしている。更に、定期的に訪問理容も行っている。		
56	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	出来る人には漬物を漬けてもらったり野菜の皮を剥いてもらったりなるべく参加して頂くようにしている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
57	本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	お酒、タバコ等現在飲まれる方がいないため、提供はしていない。飲み物、おやつ等は、要望を聞いたり手作りなどで支援している。		出来る限り好みに合わせられる様取り組んで行きたい
58	気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	生活パターンシートを活用し昼間はトイレやP-WCへ誘導している。排便困難時は、腹部マッサージ等を行い食物繊維の多い食べ物を提供できるよう心がけている		
59	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	高齢で重度の方が多く安全面を考慮し昼間に2人対応で入浴実施 個浴が出来る方は、時間の調整や希望で女性スタッフへ交代し支援している。		今後、更に重度になられる可能性大。より安全に入浴やシャワー欲が実施できるよう取り組んでいきたい
60	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	夜勤者より夜間の睡眠状態を申し送りを受け日中の傾眠や体調等を見ながら自室のベッドやホールのソファを利用して休息なされている。下肢浮腫のある方にはフットマッサージなどを行っている。		夜間帯でのオムツ交換時入居者の睡眠の妨げを減らしすばやく手早くできる様取り組んで行きたい
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
61	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	入居者様とスタッフが共に楽しみ笑顔が増やせるように努力している。また、入居者様から教わる漬物作りや干し柿作りなど行事や日々の暮らしに活かせる取り組みをしている。		本年度はホームでスタッフ手作りの敬老会やミニ運動会を実施入居者様の体調を見ながら気晴らしが出来よう支援していきたい。
62	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理が出来る方は買物時に支払いされている。管理できない方はお預かりをし、出納帳に記載し御家族に目を通していただきサインを頂いている		
63	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	天候や体調の良い日にスタッフ、家族の支援を受けながら自宅や親類宅、外食などに出かけている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
64	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	春には花見、秋にはバスハイク・外食などに出かけている。遠くで行けない所は御家族に協力を得ている		
65	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	本人が希望される時はスタッフが電話を取り次いでいる。手紙やはがきなどでやり取りをされている。		
66	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問や、面会に来られた際、ゆっくりと過ぎて頂く為、お茶等を提供しコミュニケーションを図っている。		
(4) 安心と安全を支える支援				
67	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束に関する研修会に参加しケアに活かしている。		
68	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	居室には鍵をかけていない。ホームの入り口も鍵は無く自動ドアになっている。玄関のみ外部からの侵入を防ぐ為オートロックになっている。		
69	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	入居者様の大半は、日中ホールで過している。自室で過される時は随時見回りや声掛けを行い安全を確認している。		
70	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	刃物等は業務終了後食品庫で管理し飲まれると危険なものは視界に入らない場所で保管している。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
71	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	入居者様一人一人の状態を把握しヒヤリハットを活かし事故防止に努めている。また、急変時の対応、蘇生法や防災研修や訓練を行っている。		
72	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	職員は急変時の対応についてトレーニングを行っている。又、火災発生時の訓練も定期又は自主的に研修に参加している		
73	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	災害時、緊急時の連絡網をホーム内に掲示しており地域の方には非常時に備えた協力をお願いしている。		地域で行われる防災訓練に参加している
74	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	御家族の来訪時には日頃の身体状況や起こりえるリスクについてお話している。今後の意向などもお聞きしている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
75	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	毎日の観察、バイタルチェックを行い緊急時の場合はNSに報告日頃よりスタッフ間で情報の共有に努めている。		
76	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	主治医より処方された内服薬について不明な時はスタッフ全員が理解できる様にカルテにファイルしている		
77	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	排便チェック表(生活パターンシート)を活用し把握する事が出来る。水分や食物の工夫を行い便秘時の対応を行っている。		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後、口腔清拭を行っているが必要に応じて歯科受診や義歯の調整をおこなって清潔を保っている		
79	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	その時の状態を見て声掛け、介助を行い対応している。不足の場合は個別に飲み物や補食を提供している。		
80	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	原病院や福岡市の感染症に対する最新情報や予防法などスタッフとの情報交換などし努めている。本施設は年間を通してが手洗いを励行している		新型インフルエンザ予防に際し職員の健康チェックも行っている
81	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	ホームで調理し提供している食材については生物はなるべく使用せず加熱調理している。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
82	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	季節ごとに雰囲気を変え、明るく清潔感のある様工夫している。		
83	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンなどで光の調節などし季節ごとの飾り、写真など掲示しより良い雰囲気作りを心がけている		

番号	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
84	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	ホール、居室は自由に出来る様にしており、食事とお茶の時間には全員集まれる。気の合う方同士で集まったり、一緒に洗濯物をたたまれたり楽しく過せるようにしている。		
85	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	備え付けのクローゼット以外は御家族に準備していただき、使い慣れた物等で居心地良い居室を提供している。		
86	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	空気の悪い時は換気を行い、利用者様の希望を聞きながら室温の調節も行っている。		
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
87	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	バリアフリーの建物になっており、手摺も各所に設置し残存能力を活用して生活出来るような配慮をしている。		
88	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	トイレ洗面台は、一番わかりやすい場所へ設置し毎回同じ場所へ誘導するように心がけている。また、居室も席からなるべく一番近い場所になるようにしている		
89	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の裏には、畑とベンチがあり、散歩や外で食事したりして活用している。		

番号	項目	取り組みの成果 (該当する番号欄に 印をつけること)	
. サービスの成果に関する項目			
90	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる		ほぼ全ての利用者の 利用者の2/3くらいの 利用者の1/3くらいの ほとんど掴んでいない
91	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある		毎日ある 数日に1回程度ある たまにある ほとんどない
92	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
93	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
94	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
95	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
96	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている		ほぼ全ての利用者が 利用者の2/3くらいが 利用者の1/3くらいが ほとんどいない
97	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています		ほぼ全ての家族と 家族の2/3くらいと 家族の1/3くらいと ほとんどできていない

番号	項 目	取り組みの成果 (該当する番号欄に 印をつけること)	
98	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="checkbox"/>	ほぼ毎日のように
		<input type="checkbox"/>	数日に1回程度
		<input type="checkbox"/>	たまに
		<input type="checkbox"/>	ほとんどない
99	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="checkbox"/>	大いに増えている
		<input type="checkbox"/>	少しずつ増えている
		<input type="checkbox"/>	あまり増えていない
		<input type="checkbox"/>	全くいない
100	職員は、生き活きと働けている	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての職員が
		<input type="checkbox"/>	職員の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	職員の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
101	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての利用者が
		<input type="checkbox"/>	利用者の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	利用者の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどいない
102	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="checkbox"/>	ほぼ全ての家族等が
		<input type="checkbox"/>	家族等の2/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	家族等の1/3くらいが
		<input type="checkbox"/>	ほとんどできていない